

AUTOMOBILE COUNCIL 2020

With コロナ環境下、自動車文化の継承を途切れさせない決意で開催

7月31日(金)～8月2日(日) 千葉・幕張メッセ

7月1日(水)から、前売りチケット販売 再開

オンライン有料展示会「AUTOMOBILE COUNCIL 2020 Virtual Mall」を併催

AUTOMOBILE COUNCIL 2020 実行委員会

AUTOMOBILE COUNCIL 2020 は、来る7月31日(土)から8月2日(日)の会期にて、千葉市・幕張メッセにて開催します。

■ コロナ禍にある環境下で、自動車文化を後世に伝えるという使命をまっとうする

AUTOMOBILE COUNCIL は、1990年代までに登場した世界のヘリテージカーが一堂に会する展示会で、2016年にスタートし今年で5回目を迎えます。本年も「CLASSIC MEETS MODERN」をフィロソフィーに、日本車メーカー、インポーター、サプライヤー、ヘリテージカー販売店、マルシェ、イベントオーガナイザーが集結し、往年の名車と最新モデルが一堂に披露されます。今でこそ自動運転やハイブリッド化が進む自動車ですが、その系譜は20世紀のモータリゼーションに遡ります。ヘリテージカーは、自動車の礎を知り、文化として次世代に伝えていく極めて貴重な歴史遺産、文字通りの“ヘリテージ”といえるものであり、自動車の魅力を知り、後世に伝えていくためにも必要不可欠なものにとらえています。

AUTOMOBILE COUNCIL 2020 の開催は、当初、4月上旬を予定。3月下旬の感染拡大の状況を見ていち早く1か月後の5月上旬へ順延としました。さらに、緊急事態宣言の発令と、東京オリンピック・パラリンピックの1年延期により会場の使用が可能になったことから、7月末に再延期を決定しました。

AUTOMOBILE COUNCIL は、単なる“懐古趣味の自動車の展示会”ではなく、自動車文化を後世に伝えるという使命を自負しており、コロナ禍にある社会状況の中でも文化の継承を途絶えさせてはいけないという姿勢に他なりません。

新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、世界ではワクチンや治療薬などの開発がすすめられている一方で、経済活動の再開の動きが始まっています。日本国内では、緊急事態宣言、東京アラートが解除され、新型コロナウイルスと共存する「with コロナ」環境下での官民を挙げた経済活動の回復が求められており、この国の方針に呼応するものでもあります。

■ 同時入場者数を5,000人に。新型コロナウイルス感染拡大の防止策を導入

感染防止には不可欠のいわゆる“3密”を回避するため、同時入場数を、31日(金)の特別内覧日は3,000名に、8月1日・2日のPublic Dayは5,000名に制限します。そのうえで、5,000人に達した場合には、入場制限を行ってまいります。感染拡大防止策では、関係者はじめ来場者の体温測定、万が一に備えた来場者情報の登録、マスク着用、手指の消毒、会場内の消毒を徹底していきます。

※対応策の詳細は、公式webサイトをご覧ください。

■ 「AUTOMOBILE COUNCIL 2020 Virtual Mall」を併催

「AUTOMOBILE COUNCIL 2020 Virtual Mall」は、実際の展示会と並行して開催するオンラインによる有料展示会です。展示車両などを会期初日の金曜日に専門家がレポートする様子を動画で収録し、翌土曜日と日曜日の2日間に「AUTOMOBILE COUNCIL」の公式ホームページに有料で公開します。遠方からの来場が難しいファンや、感染を懸念して来場を控えざるを得ないヘリテージカー・ファンには嬉しい施策となります。観覧方法等詳細は、後日公式webサイトでお知らせします。

■ 前売りチケットは、7月1日(水)から、販売を再開

車両展示をメインとしたプログラムへの変更に伴いチケット種類と入場料を別記の通り改定します。

販売期間 2020年7月1日(水)～7月30日(木) ※詳細は、別紙開催概要をご覧ください。